



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1992-3 *Real Happiness is Helping Others* まことの幸福は人助けから
1992-3年度国際ロータリーのテーマ/クリフ・ダクターマン R.I.会長

●本日の卓話 4月23日 第319回例会

「ボランティアについて」

社会福祉法人港区社会福祉協議会ボランティアセンター長
岡部 泉氏



朝はどこから 作詩/森まさる ソングリーダー/山下忠治君 ピアノ伴奏/泉晶子さん
朝はどこから 来るかしら
あの窓越えて 雲越えて 光の国から 来るかしら
いえいえ そうではありません
それは希望の 家庭から 朝が来る来る 朝が来る
「お早う」「お早う」

●先週報告 4月16日 第318回例会

■卓話「新時代における人材育成と戦略化」

住友ビジネスコンサルティング(株)人事戦略部長 平井 征雄氏

■次期会長報告(斉藤会長エレクト)

4月15日に開催された地区の会長エレクトセミナーに出席してきました。「いい会長になれ」「東京新南をさらにいいクラブにせよ」ということで特訓を受けてきました。もうすぐ新年度になりますが、心を引き締めて頑張りたいと思います。

■ロータリー情報委員会(佐藤定宏委員長)

4月9日地区ロータリー情報委員会に出席しました。新入会員一人一人が1日も早くクラブになじむために親睦活動が大切だ。親睦を通して打ち解けて、一緒に対外活動ができるようになる、それが最大のテーマだということでした。

■ゴルフ同好会(斉藤代表世話人)

5月18日(火)の5クラブ親善ニコニコゴルフ会、当クラブからは現在12名の申込みがありました。当日は千葉夷隅G.C.を貸し切っています。

■出席報告 会員70名中 出席46名、欠席24名(内出席免除者2名)/4月9日修正出席率84%
/ビジター(海外1名、都内12名、敬称略) S.D.Ahuja (Calcutta)、細川 寿太郎(大阪阪南)、池田 二郎(新千葉)、相原 三郎(横浜)、石川 正信(東京築地)、桑原 一雄(東京中央)、植村 剛(東京芝)、浅野 五郎・ファウベル・子安 敏三・神通 豊・西尾 信一・竹内 弘(以上東京南)/ゲスト 梶内 滋男(横山会員ゲスト)



順不同、敬称略
4月16日●10件/¥33,000
多額のご寄付をありがとうございました。
本年度累計/¥1,966,783

- 斉藤 茂之/昨日会長エレクトセミナーが終了しました。いよいよです。
- 小西 暁也/誕生日のお祝いありがとうございました。50才代もいよいよ終わりに近づきました。
- 入沢 頼二/昨日久しぶりにゴルフ同好会に参加し、パートナーに恵まれ優勝しました。
- 岩瀬 秀郎/昨日は、ゴルフコンペでブービーメーカーになりました。
- 田中 武/昨日のゴルフ会楽しく過ごさせていただきました。皆様お世話になりました。
- 松原 秋夫/昨日のゴルフコンペお世話になりました。入沢さん優勝おめでとうございます。
- 小遊 雅亮/1週間の経つの早さに驚いています。
- 横山 秀明/ゲストの梶内さん、ようこそいらっしゃいました。
- 丸山 忠典/例会欠席が続きました。
- 武下 朗/「お願いします」と丸山さんの声に。

●ロータリー財団 委員会から 委員長 勝山 英司

加藤昌明君からポール・ハリス・フェロー (PHF) としての寄付 (US\$1,000) をいただきました。ありがとうございました。PHFの寄付により次のようなプログラムが実施できるのです。
例えば、生活水準の向上、食料の増産、教育の改善、病人と身障者のための治療、国際理解の推進など。

メーキャップのおすすめ

出席委員長 二宮 利泰

本年度も終盤近くなりました。今年度、当委員会は出席率向上策の一つとして、メーキャップの活用をおすすめしてきましたが、この度会報委員会のご協力により、メーキャップの感想文を掲載しました。投稿をお願いした会員諸氏は、日頃メーキャップに精励されて、今年度通算出席率100%を達成された方々です。なお「近隣クラブメーキャップのすすめ」を、東京原宿RCの了解を得て転載させていただきました。併せて出席率向上の一助となれば幸いです。

メーキャップもまた楽し でも新南クラブが最高

西澤 正雄

ロータリーは奉仕の精神という高邁な理念のもとに参集ということですから、何をさておいても出席、参加が先ず肝要と心得ています。この1年皆勤でき、初年兵のお務めが済んだところですが、なにせ雑務に追われ、つついメーキャップが半分以上にもなり、他のクラブに邪魔する結果となって肩身の狭い思いをしています。

しかしこのメーキャップは、結構こまめな努力がいることと、なかなか費用がかかります。せからしく他のクラブへ駆け込むというのが実感ですが、どこへ行っても温かく迎えてもらえ、また気軽に声をかけていただけるのはロータリーならではであり、ロータリアンの輪が広がっていくのを感じさせるものです。また思いがけず旧知の方や友人に会ったりするのも楽しい思いです。あるクラブでは、点鐘の前に可愛い子ちゃんのリードで3分間体操をして、思いがけず肩がほぐれることもあります。古い名門といわれるクラブでは何となく緊張します。多人数でザワザワしている所があったり、ゲスト紹介も名前を読み上げたあと一斉に立ち上がるような所もありました。でも、何といってもわがクラブが最高です。明るく、家庭的で、温もりがあって、It's a small worldのリズムが始まるとああやっぱりホームクラブが最高!と思うのが本当の実感です。これからはできるだけホームクラブに出席します。

メーキャップに出席して

宮澤 博

昨年私どもの会社の組織が変更になり、外回りに出掛ける機会が多くなりました。お蔭でメーキャップによってかうじて100%出席の綱渡りをしている現状です。

私が主にお伺いするのは銀座と築地のクラブです。銀座ロータリークラブは卓話の面白いことで定評があるようで、佐川問題や政局の難しい時にはそれぞれの問題に精通している方の話や、時には美人キャスターで評判の女性が登場して、歯切れよくニュースでは聞けない裏話も含めた解説をしてくれます。相撲のシーズンになると元関取の解説者が場所の予想や横綱候補の今後の条件、昔と今の関取の気質などの話をしてくれますので、何時も楽しみに聞かせていただいています。銀座ロータリークラブの顔の広さと歴史を感じます。築地ロータリークラブは、銀座と比べると、一線で活躍中の方が多いせいでしょいか、活気と若さに溢

れているようにおみかけします。両クラブとも私どものクラブより先輩なので、何か学ぶべきものはないかと思ってお伺いしております。ただ会員の方が多い為か同じクラブの会員でありながらお互いに余り知らない人も居られるようで親睦委員の方は苦心しておられるようです。

メーキャップに行ってそこでわがクラブのメンバーの方にお会いしたり、他クラブの人と顔見知りになって会話ははずむこともあります。時には山口県からメーキャップに來られた学生時代の同級生に30年振りであって旧交を温めたこともあります。クラブの料理も中華あり、和食ありで楽しみの一つです。ただ卓話の時間になりますと、かなりの方が席を立たれることが多く、特にメーキャップの場合は心しなければならぬことと自ら戒めております。メーキャップもまた楽し!ということでしょうか。

「ある例会」その1

小西 暲也

日本以外でのメーキャップが、私は数多いわけではないが、少々変わったところ、お国柄が出ているところなど記憶をたどってみたい。夕食が遅いことで知られるスペインの例会はマドリッドやバルセロナ等は別として、南のコスタ・デル・ソル（太陽海岸）といわれる地方はおおむね午後8時30分～9時に始まる。20分程前から軽くやりながら自己紹介したりして結構親睦を深める。一通り揃ったところで会長が何よりもまず、遠来のロータリアンたちやその夫人、ゲストたちを楽しそうに、そして丁寧に皆に紹介。名前をいわれて愚妻共々立って会釈。バナー持参のシニョールはそこで交換。そして会長から自分たちのクラブを簡略に説明。私が何回か訪れたこのクラブ、フェンヒローラRC (Fuengirola) は、赤い五つ星の、ロビーや回廊をアラブ風のタイルで見事にあしらったホテルビブロス (Biblos) で開かれる。正月でも昼間の暖かい時は半袖や半ズボンでプレーができる36ホールコースを持ったロケーションのいいホテル。したがってビジターも多国籍で、私のような遠く東アジア、或いはアフリカ、南北アメリカ大陸等さまざま。会長とメンバー諸氏そしてビジターたちとの話のやり取りのあとは、外来の客にクラブの活動報告や連絡事項等は聞かせるほどのことはない、ということか、それで我々はさようなら。(その間15～20分ぐらいか) 夕食は夜10時からなのでロータリー同志会食を望む人だけその時間にホテルレストランに再び集合。他に予定のある人はどうぞご自由に一という趣向である。

■メーキャップ見聞録

高須 康有

今回、二宮出席委員長から原稿依頼があったということは、いかにホームクラブの欠席が多く、メーキャップが多いということであり、まずもって、深く反省しました。ところで、色々なクラブでメーキャップすることは楽しいものです。それぞれクラブによって例会運営の様子、雰囲気の違い、勉強になることが多くあります。また、御無沙汰していた方とばったり出会ったり、日頃はなかなかお会いできない大会社の社長と隣り合わせになり、こちらが緊張していても、気さくに話しかけていただくなど、メーキャップに行く度に、今日は誰と会うかなと、ワクワクいたします。以前、出張の折り、札幌RCに出席しました時は、道外からは私だけでしたので、特に親切に迎えてもらい、どこへ行っても快く受け入れてくれるロータリーに感動しました。そして、その午後、初めてお会いするお得意様と偶然同じテーブルで挨拶、早々に親しくなり、仕事の面でも大いにプラスになったことがありました。以上のように何かと得ることの多いメーキャップをおすすめいたします。

■素敵なクラブ

大日方 真

2月15日に東京原宿RCでメーキャップしました。例会場は、赤坂プリンスホテルの旧館で、私の好きな場所の一つです。わがクラブより1年半程前に設立されたクラブですが、一時は70名以上いた会員が55名に減少して、クラブ財政が苦しいということでした。

嬉しかったのは、メーキャップの費用です。2,500円ですといわれて、本当ですかと思わず聞き返しました。他にも楽しいことがありました。その日は会員55名中出席者

が37名、食事の前に会務報告がありましたが、皆が雑談している中での和やかな報告でした。食事のあとの委員会報告では、炉辺会合、拡大委員会、ゴルフ同好会の報告がありましたが、報告中に会員のなかから軽妙な合いの手が入るのです。びっくりしました。

クラブ会報の本日の例会欄には、卓話会員予定とだけありました。卓話の時間になると、予定者の都合が悪くインシエーションスピーチはなくなった。ついてはチャーターメンバーに話をさせていただくという司会者の言葉、その場で次々に3人指名されて、卓話の代行をしました。最初の話は、奉仕の精神についてで、年を取るとクラブの中でも若い人との触れ合いが少なくなり寂しいものだ。特に会長を退任したあとは、突然情報が何も入らなくなる。大変寂しい。老人も大切にしてくれよという話でした。

2番目は、友情の心で触れ合うという話で、ロータリークラブは学校のクラスのようなものだ。完璧な人間はいない。クラスには好きなものも嫌いなものもある。嫌なこともあるが、多少のことはあっても友情を持って大目に見てほしいという語りかけでした。その瞬間ピタッと雑音が消えました。3番目は、財政の立て直しの話でした。今財政は大変厳しいが、創立時のことを思い出していただければ、解決の方法はある。嫌われても無駄を無くして、お金の入りと出をあわせなければならない。財政の立て直しのために、もう一度お手伝いさせていただきますということでした。公認会計士の方のようでしたが、財政改善のために会員増強という話は出ませんでした。

会長のコメントは、会員は各人各様でばらばら。ばらばらで腹の立つこともあるが、個性的な人が集ってまとまっているクラブだ、という感想でした。

東京原宿RCでの1時間は、生き生きとした方々との出会いでした。すばらしいクラブでした。ぜひ一度メーキャップされることをおすすめします。

■近隣クラブメーキャップのすすめ

月曜日	東京麹町 △東京西北 東京日本橋東 東京築地	ホテルニューオオタニ 京王プラザホテル ロイヤルパークホテル 銀座東急ホテル	木曜日	東京ベイ 東京神田 東京中央 ●東京自由が丘 ♥東京城南 東京目黒 東京紀尾井町 ▲東京成城新 東京品川 東京南 東京杉並 東京山の手	ロイヤルパークホテル ホテルグランドパレス 帝国ホテル 雅叙園観光ホテル 雅叙園観光ホテル 目黒雅叙園 ホテルニューオータニ 小田急ハルク8階 豪華 ホテルパシフィック東京 東京会館 東京ヒルトンホテル(9、1、3、6月の最終は18:00) キャピトル東急ホテル
火曜日	▲東京中野 東京北 東京原宿 ♥東京京浜 東京駒場 東京マリン 東京みなと 東京日本橋 東京大井 東京世田谷南 東京新橋 東京西南	東京ヒルトンホテル 帝国ホテル 赤坂プリンスホテル 高輪プリンスホテル 東邦生命本社ビル30階 金王まつり ホテルパシフィック東京 東京プリンスホテル パレスホテル 高輪プリンスホテル 東急文化会館 第一ホテル東京 ホテルニューオータニ(奇数月の最終例会は18:00)	金曜日	東京東 東京池袋 東京城北 東京小石川 △東京新宿 東京田園調布 東京荏原かめりあ 東京銀座新 東京西 東京大崎 東京シティ日本橋	ホテルニューオータニ サンシャイン・シティ・プリンスホテル 赤坂東急ホテル 椿山荘 ホテルセンチュリー・ハイアット 自由が丘桜蘭 高輪プリンスホテル 銀座東武ホテル ホテルオークラ ホテルパシフィック東京 ロイヤルパークホテル
水曜日	東京 △東京新都心 東京港南 東京日本橋西 東京世田谷 東京芝 東京荏原 東京銀座 東京城西	帝国ホテル ホテルセンチュリー・ハイアット ホテルパシフィック東京 パレスホテル 東急文化会館 東京プリンスホテル 高輪プリンスホテル 銀座東急ホテル ホテルニューオータニ(4、8月以外の最終例会は18:00)	曜日	△印は第5例会のみ18時開会 ♥印は8時開会	▲印は月の最終例会のみ18時開会 ●印は19時開会 無印は12時30開会

●卓話 4月16日
新時代における
人材育成と戦略化



住友ビジネスコンサルティング(株)
人事戦略部長
平井 征雄 氏

最近行われた社会経済国民会議のアンケートによると、経営者は人材教育が極めて大切だと考えている。企業の人づくりで私が感じているのは、今の大学出たての人間は未成年だということである。この前途有望な未成年者を企業の中で育てて大人にしなければならない。江戸時代には、15才といえば大人であった。法律では20才になると大人で、酒が飲めるようになるし選挙権が与えられる。しかし産業界では、22才はビジネスマンとしては全くの子供で、30才くらいになってやっと成人する。したがって、採用した人間を30才までに、いかにして大人にするかを考えなければならない。昔は、「大学」といえば相当な教育の場であった。今は運動場の大きい学校位にしか思えない。昔のように何年浪人しても目標の大学に入るということはなくなった。親も学校の先生もあぶないことはしないから、偏差値によって安全な振り分けが行われる。損得には敏感だが、志を持たず、しつけが出来ていない人間が増えている。前途のある若者が大学を出て企業に入り、のほほんと30才まで過ごしてしまうとしたら大変心配な状況だ。そこで企業の責任でこの未成年者を大人にしなければならない。

能力開発で大切なのは、本人の立場をはっきり示すことだ。それが人づくりの原点だ。本人のレベルにあった目標を持たせる。「人はなろうと思った人物にしかねない」といわれるが、努力すれば実現可能な目標を持ち、一生懸命やってその目標を達成する。うまくやれば良いことがある、例えば、本人にとってチャリングな報酬が得られるということであれば、やる気になるし自分でも努力する。さらに本人にやった成果を味わってもらう。未熟だから自分で自分の成果を味わうことができないので、上司が味わい方を教える必要がある。面接を通じて自己評価させ、喜びを味わわせる。上司の評価によって認められた喜びを感じさせる。それを繰り返しすると自尊心が高まって成熟していく。この繰り返しの中で、30才には30才らしい、40才には40才らしい人間が育っていく。放っておくとこれができない。

職場には「作業型」の仕事が多く、仕事の急速な量的拡大の中で、作業中心の評価が行われやすい。しかし大切なのは、人間でなければできない「能力型」の仕事の能力である。「能力型」の仕事は、状況に応じた工夫をしなければ達成できない。これは、これまでのわが国の仕事のあり方にメスを入れることにもなる。やってみなければ分からないようなものでも、人間は何とかやり遂げてしまう。人間はそういう大きな能力を持っている。

人づくりということで企業の教育を見ると、仕事は仕事、教育は教育という結果に終わっている懸念がある。人づくりの基本は、自らが自らを育てるという自律的な人間を育てることである。単に知識を植えつけばよいというのでは問題だ。現在の人づくりは、技能や知識に偏りすぎていないか。昔はスキルの教育だけでなく、スタンス、姿勢をばっちり教え込んでいた。部下を育てるとき、上司は、自分より偉くさせてやるという意識で教育していた。今何が起きているかを知る磨き上げられた感性が必要であり、スキル以外の部分、スタンスやセンスといった広範囲の領域を押さえておく必要がある。自分より偉くなったら自分が脅かされるなどと考える管理者に教育を任せることはできない。

では誰が指導者になるか。人づくりを担当しなければならない管理者には大分問題がある。管理者の役割を認識していない管理者や物分りの良さそうな優しい管理者が多すぎる。口うるさい管理者は少なくなった。それでは部下は育たない。しつけができる管理者が必要である。部下の考えを鋭敏に見分けられ、部下に対する基本姿勢を維持するような管理者が求められるのであり、人づくりというとき、このあたりのことが心配である。

産業界の人づくりのやり直しが、21世紀に向けての大切な課題であると思う。(まとめ大日方)

指導者としての力量は？

「指導者としての力量は、自分の後に続こうという信念と意思を

他の人に残せるかどうかということです」

ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン誌（フランクリン・ルーズベルトの死後に）

●次週4月30日(金)は、
休会です。

●次回予告

5月7日 第320回例会

■卓話予定 「オーストラリア留学を終えて」

青少年交換留学生 清家 愛さん

東京新南ロータリークラブ

会長：柴本芳郎 副会長：宮武保義 幹事：入沢頼二

〒107 東京都港区赤坂2-22-19 南部坂アネックス201号

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日・12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

会報委員

青野 信次、新保 國彦、田中 武

荒木 昭文

●4月度編集担当者／大日方 真

●卓話テーマ翻訳／渡部 一元

●印刷／豊圓堂印刷（株）